

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2013 年 9 月号 (第 64 号)

発行責任者 薄井 文子



市内三ヶ島「中山ぶどう園」にて 撮影/長岡 慶一

《サークル交流会》

《吉田の龍勢祭り》見学会**— 10月13日に開催！ —**

事業部長 志村喜八

本年度最後の事業となる「吉田の龍勢祭り」見学会には、16 のサークル、60 名の皆様から参加希望が寄せられました。ところざわ倶楽部開設当初はバス旅行を行っていましたが、会員数の増加により近年は行っていない。今回、「地域の祭り研究会」の熱心なご協力により実現できました。各サークル間の交流を深めようということをコンセプトにしており、参加人数に多少はありますが、ほとんどのサークルから参加希望がありました。どこでも同じことですが、なかなか他のサークルの人達と話し合う機会が少ないかと思えます。このサークル交流会を利用して、バスの中で、あるいは桟敷席で龍勢祭りを見学しながら懇親を深め、大いに楽しんでいただけたらと思います。

「龍勢祭り」については、今までご案内していますので省略しますが、秩父市下吉田にある棕神社の例大祭に奉納する神事として伝承され、毎年 10 月の第 2 日曜日に開催、龍勢（火薬を仕掛けた龍 27 流派 30 数本）を轟音とともに天高く打ち上げるものだそうで、

マスコミの取材も多数あり、多くの観光客が訪れているそうです。

ところざわ倶楽部事業部、協力サークル「地域の祭り研究会」の担当幹事の方も楽しい見学会にしたいと、いろいろ工夫、準備されていますので、有意義なサークル懇親会、見学会にいたしましょう。

《吉田の龍勢祭り》見学会（雨天決行）

日 時：平成 25 年 10 月 13 日（日）

集合 7：45 出発 8：00

集合場所：所沢駅東口リソナ銀行側

東へ約 100 メートル郵便局前

開催場所：秩父市下吉田地区棕神社境内

参加費：4,500 円

※ 9 月参加確定後のキャンセルは、キャンセル料をいただきます。

7月事業実施報告

「映画上映会」

《懐かしの映画・鑑賞会》

二上 拓夫

<50年前の所沢にタイムスリップしたひととき！>

7月24日、新所沢東公民館にて『所澤の街を知る～勉強会』映画上映会を開催致しました。

○ 第一部 上映作品 所沢ロケ映画「はだかっ子」1961年ニュー東映作品

○ 第二部 「所澤のまち 今は昔」 ―お話― 移り変わりをスライド写真で紹介

当日は小雨模様の天候で、参加者の出足が気かりでしたが、心配は払拭されました。

80名にも達する人達に来て頂きました。計画したサークルとして大変有り難く思っております。

所沢ロケ映画というように、昭和30年代の所沢の街並み、航空公園駅手前のガードと旭橋や宮本町ロータリー(現ドン・キホーテ前信号)、山口の中氷川神社近辺の茶畑など、昭和35年頃の風景をご存知の方は大変懐かしくご覧になったのではないのでしょうか。

写生会のユネスコ村・オランダ風車、おとぎ電車も、かつては自分のお子様を連れて行った場所ではありませんか？そして、映画の内容からは、戦後10年経った日本の姿、貧しいが隣近所が助け合い、明るく元気に懸命に生きていく日本人の姿がそこにあった事を思い出させてくれましたね。

主人公の三浦元太は小学校6年生。インドネシアで戦死したため父の顔も知らず、母親とふたりで頑張っている。子供の見る世界と大人たちの見る世界が面白く描かれていて、思わず納得したり、笑いが出たりもしていました。また、映画とは云え言葉遣いの

丁寧さ優しさは、同時代を過ごした皆様も「昔は良かった」と共感された事柄ではないでしょうか。



出演の俳優も、有馬稲子(先生)、三國連太郎(大工)、東野英治郎(先生の父)、菅井きん(近所のおばさん)、千秋実(チンドン屋の親方)など。子役時代の風間杜夫おりましたね。特に、野犬狩り市職員(NHK朝ドラ「あまちゃん」の琥珀堀りの勉強さん)塩見三省・気付きましたか？

第二部では、上映作品に関して、昭和30年代を中心に『写真で見る所澤の今昔』をお話させて頂きました。時間が限られていた関係上、多少速足での紹介説明になりました。

今回の機会はサークルとして初めての試みでしたが、作品のお陰もあり、盛況のうちに終える事が出来ました。「ところざわ倶楽部」と参加して頂いた皆様に感謝申し上げます。

平成25年7月、8月理事会報告

総務部長 森下 尚洋

7月理事会は7月8日(月)、8月理事会は8月12日(月)に開催された。

《7月》

1. 会長案件

- (1) 市民大学20期生に対する説明会の方針
- (2) サークル訪問結果の説明

2. 総務部案件

- (1) 総会(11月21日予定)に向けて、理事の交替、サークル発表など要請
- (2) 特別会員に適当な講師の推薦依頼

3. 事業部案件

- (1) 古典講座の実施報告
- (2) 7月行事「映画上映会」の計画説明
- (3) 10月行事「吉田龍勢祭り」計画説明
- (4) 芋煮会は今年度見送りを決定

4. 広報部案件

- (1) 「広場」7月号内容説明
- (2) 「広場」9月号企画説明

5. その他

会員資格について実態調査を行う。

《8月》

1. 会長案件

- (1) 市民大学20期生に対する説明会の報告

2. 総務部案件

- (1) 滝谷紘一先生、淵野雄二郎先生、渡辺隆喜先生に特別会員就任を依頼。関係サークルに確認
- (2) サークル代表理事交替
- (3) 総会に向けての準備事項及び協力要請
- (4) 会員資格調査票の今月中提出要請

3. 事業部案件

- (1) 「古典講座」実施報告
- (2) 「映画上映会」実施報告
- (3) 10月行事「吉田龍勢祭り」の計画説明
- (4) 第7期事業計画案検討依頼

4. 広報部案件

- (1) 「広場」9月号内容説明

5. その他

会員資格調査結果を取り纏め、次回理事会で検討。

アンケート調査から見た公開古典講座

「現代に生きる松尾芭蕉」

《葵の会》 池田新八郎



6 月 10 日から 7 月 8 日まで 4 回（月曜日）にわたって開催した初の公開古典講座は、好評のうちに無事終了いたしました。参加人数が読めなかったこと、

マイクが聞きにくかったことなどもありましたが、大過なく終えられほっとしています。全体的に感じたことは文学ファン、古典ファンの多いことでした。参加者はほとんど 60 才代から 80 才代で、老後をゆっくり古典や、文学に触れてみたい、俳句を学んでみたいという方々でした。元高校の先生であった川上義正先生の、ユーモラスでかみくだいて話される姿に「川上先生ファンになりました」という方や、山口公民館で先生に教わっている「名作を楽しむ会」の熱心な受講者の方々も多数参加され、熱気ある公開講座となりました。

講座内容については約 73%の方が良かったと答えていますが、講座の回数については「丁度良い」は 59%で、「足りない」と答えた方が 38%もありました。「おくの細道」の抜き読み 4 回の講座では全体から見れば一部で、もう少し講座回数を増やしてほしいという方が多かったようです。今後の課題ですが実施する方は大変です。

また、今回初めての公開講座でしたが、倶楽部の公開講座は実施してほしいという方が 95%もあり、今後のところざわ倶楽部の事業としても検討してみたいと感じました。



【アンケートの集計結果】

1. 参加人数

参加人数	倶楽部会員	63 名	[主な参加サークル] 葵の会/20 名 ・ むさし野俳句会/8 名 ・ 所沢の自然と農業/5 名 公園の会/5 名 ・ 名作を楽しむ会/10 名（一般）
93 名	一般	30 名	

2. アンケート内容

●アンケート内容 回収数 56 名 回収率 60.2% (56/93)

男性：28 名 女性：28 名	50 才以下	50 代	60 代	70 代	80 代	不明
	0	0	23 名	26 名	5 名	2 名

①講座の内容は如何でしたか？

1. 解りやすく良かった	2. 普通であった	3. 難しかった	4. 不明
41 名 (73%)	13 名 (23%)	0 名	2 名 (4%)

②講座の回数（4 回）は如何でしたか？

1. 多い	2. 丁度良い	3. 足りない	4. 不明
1 名 (2%)	33 名 (59%)	21 名 (37%)	1 名 (2%)

③ところざわ倶楽部でこのような公開講座を開催すれば参加しますか？

1. はい	2. いいえ	3. 不明	4. 時期による
53 名 (94%)	1 名 (2%)	1 名 (2%)	1 名 (2%)

サークル活動レポート①

「渡辺隆喜先生を囲んで」

《野老澤の歴史を楽しむ会》

— 明治維新に貢献した留学生の足跡を偲ぶ —

佐野 弘太郎

8月1日、明治大学名誉教授渡辺隆喜先生をお招きして、座談会を開催しました。(参加者26名)

テーマは「海外研究よもやま話 — 明治維新と海外交流 —」です。

内容は、先生が昭和58年(1983)4月から12月まで、ハワイを出発点として、米欧諸国の大学等を歴訪、維新前後の留学生たちの足跡を尋ね、タイを経て帰国されるまで、訪問先でご自身がとられた写真をもとに、披露された数々のエピソードです。

一例をご紹介します。

慶応元年(1865)、薩摩藩が幕府の禁を犯して、五代才助(後の友厚)、森金之丞(後の有礼)ら19名を英国に密航させました。彼らはそれぞれ専門分野の知識を

吸収し、帰国後各方面で活躍、日本近代化に貢献しました。異色なのは、最年少(13歳)の長沢鼎で、他の藩士はロンドン大学等に入学しましたが、かれは年少のため、グラバーの父の家に身を寄せ、地元の学校に通いました。その後長沢ら数人は米国に渡りました。明治維新となり、他の藩士たちは帰国しましたが、彼だけとどまり永住、ブドウ園、ワイン醸造業を営み成功、カルフォルニアワイン中興の祖と言われるまでに至りました。現在でも、「長沢ワイン」は、鹿児島県の山形屋デパートで売られています。

150年前に13歳で英国に密航した少年が、米国で事業に成功、今でもその遺業が生きていることに感銘を受けました。



サークル活動レポート②

「地球環境に学ぶ」

《地球環境に学ぶ》

塚本 二郎

当サークルは、ところざわ倶楽部発足時からスタートし、間もなく満6年を迎えます。ここでここ2～3年の主な活動を年毎に振り返ってみます。

① 那須野ヶ原エコ見学会 2010.9.2

バイオガスによる発電プラント、農業用水路での小水力発電。バスによる初めての見学会。他サークル、17期の方の参加を含め21名で実施。

② 揚水式発電所勉強会 2011.2.15

月1回の定例会での個人発表の中で、神無川の揚水式発電所を見学した会員の報告があった。当方式は原発との組み合わせでその存在意義があり、まさか1ヶ月後に原発事故とは思いませんでした。

《2011.3.11 東日本大震災》

③ 市の節電キャンペーンに協力

ワットアワーメーターの貸し出し 節電奨励品(クオカード)等をアンペアダウンの提案も含め『広場』や、「ところざわ倶楽部ウィーク」でPRした。

④ 公開講演会(フードマイレージ) 2011.5.28

フードマイレージ講演会。講師は農水省中田哲也氏。一般の方を含め90名出席。新所沢公民館

⑤ 映画上映会

・2011.9.16 “ミツバチの羽音と地球の回転” 他の団体と協賛。800人(3回入替) ミューズ。

・2012.9.22 “第4の革命” 狭山の市民団体と協賛。300人(内ところざわ倶楽部30人) 狭山市民会館。

⑥ 太陽光発電所見学会 2012.10.12

甲府市米倉山及び北杜サイト太陽光発電所を福祉バス利用による見学会。他サークルの参加を含め25名で実施。

⑦ 公開講演会(放射線の何が問題か) 2013.1.30

“放射線の何が問題か” 講演会。講師は滝谷紘一氏(元、原子力安全委員会)。一般の方50名を含め150名出席。質疑多く、ところざわ倶楽部ホームページ(講演の感想)を見て下さい。

※ 事前に市環境対策課から計測器を借り、市内の放射線空間線量の測定を全員で実施した。

また同課から4.16に出前講座を受け、PM 2.5情報も含め放射線の理解を深めた。

＜今後の予定＞

1. 各自の勉強、研究の発表をベースに下の2,3項について皆と相談しながら進めていきたい。
2. 「マチごとエコタウン所沢構想」への協力・提言。
3. 第5次所沢市総合計画(後期)市民検討会議に参画。
以前から地球温暖化対策が主流でしたが、3.11以降は再生可能エネルギーの拡大が、固定価格買取制度をベースに、より具体的に動き始めています。

サークル活動レポート③

葉月の「民話の会」

《民話の会》 仲山 富夫

猛暑、猛暑の中、出かけるのも控えクーラー温度を 27 度に設定するも、見れば 25 度になっている。誰が調節したか顔を見合わせた。目が八の字に落ち



こんで化粧が落ちている。見なきゃよかった（お互い様）。以心伝心か、昼食はソーメン、ずるずるとすすむ。冷たくてうまい。謝謝！

「民話の会」の活動日がやってきました。今月は久し

振りの屋内での勉強会である。会員の研究成果発表がありました。

議題 1. 民話を語る。 中 泰

◆三ヶ島の民話 『おまん和清太郎』

◆狭山丘陵の民話事情

議題 2. 所沢の民話について 加曾利厚雄

中 泰さんから、狭山丘陵の民話について詳細なお話を、そして加曾利厚雄さんから、地理的・民話の原点などの詳しい解説をお聞きしました。

今回の勉強会へ、ところざわ倶楽部の会員の方 4 名が特別に参加されました。

感想を頂きましたので、次にご紹介いたします。

「正直な話、伺って良かったです。外から見ていて民話の会とは何か分らなかったけれども、皆さんが熱心に民話に取り組んでいる姿を見て感動しました。所沢の民話を聞いて感銘を受けました。」

あらためて民話とは

民話、民間説話は民衆の生活の中から生まれ、民衆によって口承されてきた説話のこと。昔話のほか、伝説、世間話その他を含める（出典：フリー百科事典『ウィキペディア』より）

私達「民話の会」は、民話を知り、その由来地を訪ねながら、周辺の神社・お寺や路傍のやさしいお地蔵様などに触れながら、それぞれの会員の感じたことを話し合いながら古の教えや生活に思いを馳せることを大切にして活動をしています。

「民話の会」は、いつでも皆様のご参加を歓迎致します。（※詳しくは HP をご覧ください）

《 エッセイ 》

ところざわ倶楽部と私

長岡 慶一

市民大学 14 期を修了し、2 年次の皆さんと同じサークルに参加し、結果としてところざわ倶楽部にも加入し、6 年が終ろうとしています。2 年次の自分で選択したテーマに取り組んだ 7 ヶ月は多忙極めましたがとても充実していました。今でも「学びの記録」グループワーク編を大事に保管しています。しかし、サークルに参加してから 6 年間は、体調が悪かった時もあったため、他の会員さんの活動報告を聴いたり、計画してくれたイベントに参加する程度で、何とはなしに過ごした 6 年間でした。

一方、ところざわ倶楽部は発足当時会員約 130 名、サークル数は六つでしたが、年々増加し今や会員約 270 名、17 サークル、1 同好会と増え、活動方針を忠実に実行している集団です。

ある時、公民館で会員募集や、活動内容を記載したパンフレット類を集めたら 100 枚以上になり、中身を見るのに疲れましたが、どちらかというとお仲間的、趣味的集まりが多いように思えました。

その中であって、「広場」を見ると、ところざわ倶楽部は生涯学習を実践している、他とはちょっと違う集団で、市民大学修了者の会と記載されてます。

昨秋より編集会議に出席し、「広場」の編集や「ホームページ」の更新に委員が喧々諤々議論したり、理事会では、日本の観測史上最高という 41 度の猛暑を四万十で記録した暑い日だったため、行きたくなかったのですが、ほとんどの理事さんが出席し、時間一杯検討課題を討議している姿を見た時には、各理事の倶楽部に対する責任感、愛着心を深く感じました。

しかし、ところざわ倶楽部はサークルと同好会が集まって成り立っているのであって、倶楽部の存在意義がまだ分かりません。興味ある講演会に行ってみようという程度です。年次総会や講演会、文化祭等でも会員さんの出席率は決して高くはないと聞きました。倶楽部の存在意義は何か？

一生懸命活動、学習している各サークルの日頃の成果を発表する場を増やし、市民に知ってもらい、それを後世まで残るように記録に残すことが倶楽部の役割ではないのでしょうか。市民大学修了時の「学びの記録」と同じような、「サークル活動記録」を発行したらどうでしょうか？ 誰がやるの？ そうでしたね。独り言です。

「身近な自然のすばらしさ」

私が所沢との関わりをもつようになったのは、大学時代に砂川遺跡の発掘調査に参加したことがきっかけとなっています。私自身、考古学すなわち歴史学が専門ですが、狭山丘陵の自然と文化財を保護する仕事に従事していたこともあることから、私が今できることは、市民大学やところざわ倶楽部を通じて所沢の歴史や自然のすばらしさを皆さんに知っていただくきっかけを提供することではないかと思っています。歴史や文化は、人と自然との関わり、また、人と人との関わりの中で築かれ、それがその時どきの社会を通して現在に至るまで受け継がれています。「身近な自然」も私たちの文化の一つ、すなわち文化財といえます。今回、投稿させていただくにあたり、私たちの生活と非常に密接な関わりがある「身近な自然のすばらしさ」について書かせていただきます。



また、近所のおじさんから、楽器のプレゼントとしてヒサカキの葉をもらい、葉笛のふき方を教わりました。

私は、改めて「身近な自然」のもたらす力に感動をしました。お兄ちゃんの感性の豊かさ、近所のおじさんの飛び入りの演奏、雑木林の下でのこんなやりとりの中で、いつのまにか歌い出した恥ずかしがり屋の妹、その光景を微笑ましく見ているおじいさん、「身近な自然」の中で起こったほんの一瞬の出来事ですが、何物にもかえがたい貴重な時間を過ごすことができました。

どこにでもあると思われがちな「身近な自然」ですが、私たちは、この「身近な自然」から様々な恩恵を受けています。それに気づくか気づかないかは、私たちのアンテナの感度しだいですが、私たちはこの「身近な自然」が、人びとの生活とともに昔から連綿と受け継がれてきたものであることを忘れがちになってしまいます。

どこにでもある自然などひとつとしてなく、「身近な自然」とは、その地域の風土にあって、そこに暮らしている人びととともに昔から受け継がれてきた地域の文化的・歴史的財産のひとつであると私は思います。したがって、未来の人びとにも「身近な自然」のすばらしさを味わう権利はあり、私たちの世代の論理で「身近な自然」を壊してしまっていないはずはありません。

私たちひとりひとりが、「身近な自然」が未来にわたって残されるように、「身近な自然」の大切さを伝えていかなければと思います。

ここ何年か前のことになりますが、私が荒幡にある「狭山丘陵いきものふれあいの里センター」という施設で作業の手伝いをしていた時に、おじいさんとお孫さんをつれて、遊びにやってきました。お孫さんは男の子と女の子の兄妹です。お兄ちゃんのほうは、人見知りすることなく元気に遊んでいて、妹のほうは、おじいちゃんにくっついたままで、なかなか話しをしてくれません。ちょうど、風が強く吹いて、雑木林の木々が大きくゆれ、葉っぱがたくさん風に舞いました。お兄ちゃんは、「森のせんぷうきが、一番強くなっている」といって、大はしゃぎで、センターの前の雑木林に駆けだしていききました。私は、そのお兄ちゃんと一緒に風に揺れる木々を見ながら、「木が踊っているね」といって、体をくねらせながら木のダンスをいっしょに踊りました。それを見ていた妹のほうも笑顔をみせてくれました。

木のダンスがひとしきり済んだ所に、どこからともなく葉笛の音色が聞こえてきました。近所のおじさんが散歩をしながら、葉を唇にあてて、子ども達が知っている「ぞうさん」「ドングリころころ」などを演奏してくれました。おとなしかった妹のほうも、自分から「歌をうたってあげるね」といって雑木林の下で、幼稚園でならったドングリの歌を披露してくれました。少し照れながらもちゃんと歌ってくれました。

門内政広先生プロフィール

- ・文化財保存全国協議会会員
- ・明治大学時代に日本考古学を専攻。
- ・所沢市との関わりは、大学1年生のときの砂川遺跡調査への参加が契機。さらに、大学院の期間、毎年2月及び3月に調査を実施。
- ・先生は、所沢市市民大学21期の「所沢の歴史」の講師を担当されます。
- ・「歴史散策クラブ」、「歴史を楽しむ野老会」の顧問。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会（小椋雄二 2921-7739） 9 月定例会：9 月 11 日（水）13：30～16：30 中央公民館 8、9 号学習室 DVD 観賞予定 10 月定例会：10 月 23 日（水）13：30～16：30 中央公民館 詳細後報	葵の会（池田新八郎 2940-0711） 9 月 12 日（木）13：30～16：00 中央公民館 6 号室 古典講座「古事記」第 7 回「神武天皇」 10 月 9 日（木）13：30～16：00 中央公民館 6 号室 古典講座「古事記」第 8 回
公園を楽しむ会（渡部正俊 2921-3014） 9 月 26 日（木）：「玉川上水の緑陰散策」国分寺線・鷹の台駅から小金井公園へ 所沢駅 9 時 40 分集合 10 月 24 日（木）：「レインボーブリッジ～お台場を歩こう」所沢駅 9 時 30 分集合	楽悠クラブ（甲田和巳 事前連絡は不要） 9 月 17 日（火）13:30～17:00 中央公民館 #8・9 ミュージカル「レ・ミゼラブル」DVD 鑑賞 10 月 15 日（火）13:30～17:00 中央公民館 #8・9 歌劇「皇帝ティートの慈悲」(モーツァルト) DVD 鑑賞
地域の自然を考える会（広沢正巳 2939-9181） 9 月 14 日（土）糀谷八幡湿地（稲刈り）8：30～ 9 月 24 日（火）トトロ 12 号地管理作業 10：00～12：00 10 月 12 日（土）糀谷八幡湿地（脱穀）8：30～ 10 月 22 日（火）トトロ 12 号地管理作業 10：00～12：00	地域の自然（多胡國男 2993-6143） 9 月 14 日（土）9:00～ 胸高直径測定 場所：緑の森博物館調査地 9 月 28 日（土）9:00～ 畑地区整備 場所：早大 B 地区調査地
地球環境に学ぶ（塚本二郎 2942-3117） 9 月 17 日（火）定例会 9：00～11：00 新所沢東公民館 各自の研究課題の発表ほか情報交換。 ※早朝実施は 2 回目です。間違いの無いように。 10 月 15 日（火）9：00～11：00 定例会予定。	地域の祭り研究会（加藤敏恭 2923-5263） 9 月 25 日（水）9:00～11:00 新所沢東公民館 3 号 幹事会 10 月 13 日（日）「吉田龍勢祭り」見学会 倶楽部事業に協力
野老澤の歴史を楽しむ会（戸田チイ子 2995-0133） 9 月 19 日（木）富士塚巡り② 10 月 3 日（木）武蔵野 33 観音⑩結願（福祉バス） 10 月 17 日（木）鎌倉街道④ 雨天中止	所沢の自然と農業（清水仁一 2944-8835） 9 月 12 日（木）13:00～ 定例会 新所沢公民館 9 月 26 日（木）倉岳山ハイキング 9 月 29 日（日）くぬぎ山の手入れ 9 月 29 日（日）狭山丘陵シンポジウム（立川）
野老澤の歴史を楽しむ会（戸田チイ子 2995-0133） 9 月 19 日（木）富士塚巡り② 10 月 3 日（木）武蔵野 33 観音⑩結願（福祉バス） 10 月 17 日（木）鎌倉街道④ 雨天中止	ドラマティック・カンパニー（八木雅子 2995-0148） 9 月 7 日（土）、21 日（土）10:00～正午 10 月 5 日（土）、19 日（土）10:00～正午 ギリシア劇『トロイアの女たち』を読み進めるとともに、実際に朗読を行います。会場：新所沢東公民館
懐かしの映画・鑑賞会（二上拓夫 080-1250-6151） 9 月 10 日（火）10:00～12:30 ところ荘（暑気払い有り） ■「武士の一分」（2006 年）木村拓哉・檀れい・笹野高史 9 月 24 日（火）1000～12:30 西新井町公民館 ■「クレオパトラ」（63 年）エリザベス・テーラー	傍聴席（高垣輝雄 2926-7164） 9 月 9 日（月）定例会 14:00～ 新所沢東公民館 社会福祉協議会（社協）の出前講座です。 「社協」や「地域の福祉」、「ボランティア」と云った言葉を身近に聞きますが…、改めて学びます。
北欧の会（樋口俊夫 090-6483-7993） 9 月 28 日（土）第 42 回例会 13:20～ 新所沢東公民館 高齢者福祉について 私たちの認知症など 10 月中 第 43 回例会 高齢者施設見学	民話の会（仲山富夫 2948-9255） 9 月 27 日（金）第 3 回民話由来地めぐり 日月神社～柳瀬川（秋津曼荼羅淵）～持明院他 10 月 25 日（金）民話由来地めぐり（最終コース） 東光寺～塚ノ越地蔵～滝の城～東所沢駅
歴史散策クラブ（大河原功 2943-2004） 9 月 14 日（土）鎌倉史跡めぐり 源頼朝ゆかりの地を訪ねる。 集合：所沢駅 2 階改札内 8:15 10 月 11 日（金）さきたま古墳、忍城、郷土博物館 妻沼天山 集合：所沢駅東口 武蔵野銀行前 7:30 雨天決行	歴史を楽しむ野老会（居田治 2903-8400） 9 月 20 日（金）バスで行く長瀬・秋の七草寺めぐり 10 月 4 日（金）国分寺周辺の史跡を歩く 11 月 7 日（木）野老会の年次総会（場所・時間 未定） 11 月 21 日（木）バスで行く寄居町・鉢形城めぐり

【私の健康法】

「我儘」健康法

海老澤 愛之助

私は、60歳の定年間近い頃に会社の健康診断で胃癌が見つかり手術した。それ以前の50歳頃には痛風の発作を起こし、現在でも薬による尿酸値のコントロールを行っている。痛風は贅沢病と言われる時代もあったが、ストレスによる内分泌異常と言われる。そんな病気を持っている者として健康法を語るのはおこがましい限りで、当然、私の周りには家庭の内外を問わずストレスに溢れている。

ストレスを溜めない生活をするには如何にすれば良いのか、実際のところ良く分からない。家内に言わせると夜中に手洗いに起きて数秒で寝てしまう。そんな神経が欲しいと言う。多分、現役の頃に比べ思い悩む事が少ないのは間違いなさそうだ。

現在の私の生活を紹介しますと、俳句を中心に最優先の予定を決め、我儘に他の予定は入れないようにする。それは以前、俳句で師事していた先生から、「我儘に作りなさい」と言われた言葉で、気持ちが非常に楽になった経験から来ている。斯くして私の健康法は、「我儘」に生きる事かなと思う。しかし、私がい儘な分、家内への負担が大きいのと思うのでその点は反省している。

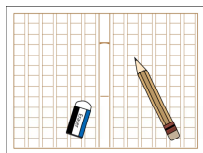


《編集後記》

▼編集委員という仕事をしていると『校正』は『ああせい、こうせい』の縁の下の地味な仕事ですが、なんとか誤字・誤植などがないようにと

思います。有名な誤植の話は、モーセの十戒の『汝、姦淫することなかれ』"Thou shalt not commit adultery."のnotが抜けて『汝、姦淫すべし』となってしまった1631年イギリスのできごとです。

▼森鷗外は誤植にうるさかったそうです。ドイツ語には『俺が校正しようか』といったとか。さすがドイツに留学した人物だからこそでしょう。手塚治虫は、よりによって長者番付記事で手塚治虫と書かれたそうです。泣きたくなかったですよねえ。また『お互いにゆ



坐す石のありて涼しき水の音
草刈りて伽藍の礎石現はるる
父がまず惚れしは母の五目鮓
夏蝶とともに歩めりお鷹道
あめんぼう石火のごとく触れあへり
飛び飛びの礎石に思ふ草いきれ
湧水をうましうましと水馬
尺蠖の虚空を測るゆるぎかな
風入れや父の遺せし日章旗
蜚舞ふ一筆書の丸と線

鈴木すぐる
鈴木 征子
高 光 泉
利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
荒幡千鶴子
飯泉 陽子

逆上がり自慢の嫁や立葵
断捨離や残る暑さの八畳間
迂回路もまた滞る残暑かな
鮎や車窓まぢかに川下り
山小屋のカレー大盛夏の雲
天平の風音涼し寺院跡
湧水の音たてをりぬ夏木立
入道雲太平洋を統べにけり
亡き父は知らぬ味なり握り鮓
川貝子の棲みし流れや夏木立

井出 昇
海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子



むさし野俳句会（二十五年七・八月）作品抄



(カワニナ)

ずる気持ちを大切に』という訓話の濁点がぬけて『お互いにゆする気持ちを大切に』になったら訓話になりませんね。

▼城山三郎の『落日燃ゆ』は、『自らのために計らず』の広田弘毅を描いた名著です。城山は『風の中の背広の男』としたのですが、出版元の新潮社の梅澤編集長が『落日燃ゆ』に変えたそうです。私は驚きました。『落日燃ゆ』の方が素晴らしいですもの。編集長の力量ですね。

▼人生に6つの楽しみあり 琴（音楽）詞（文学）酒雪月花といいます。この雪月花は白居易の詩に詠われているとか。若山牧水は一日一升の酒を飲み、43才で肝臓をこわして亡くなったそうです。食欲の秋。健康第一でいきましょう。（謙）